

◆ 平成 26 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育推進部 門委員 学科教務委員	毎月第 1, 3 火曜 学科教員会議	会議室等	<p>テーマ 平成 27 年度以降の教育プログラム・履修モデルの作成および 3 ポリシーの見直し</p> <p>実施目的 教育改革に基づき、平成 27 年度からの履修モデル作成を実現する。昨年度の教員アンケート・学生アンケートの結果を承け、プログラム・モデルをまとめる。同時に 3 ポリシーの修正変更を検討する。</p> <p>実施内容 教育プログラム・履修モデルと 3 ポリシーの整合性を図る。</p>
人間文化学部 健康科学科	中瀬古 哲 杉山 寿美	<p>・原則、毎月第 2 火曜 (学科会議終了後)</p> <p>・事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家の招聘し学習会を実施する。</p>	会議室等	<p>テーマ 実験系学科における「教育の質保障」と「SNE(Special Educational Needs)」の統一</p> <p>実施目的 近年、社会的コミュニケーションに何らかの課題を有する学生の増加に伴い、高等教育機関においても、その教学システムの特質に応じて SNE への適切な対応システムを模索・構築することが求められている。特に、集団活動を前提とした実験・実習（学外を含む）が教学システムの中核である実験系の本学科においてはその対応は緊急の課題である。そのための基礎的知見を蓄積・共有することが平成 26 年度 FD 活動の目的である。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回、授業における SNE に関する情報を、交流・共有・記録する。 ・事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家を招聘し学習会を実施する。
経営情報学部 経営情報学科	市村 匠 竹本 康彦 重安 哲也	毎回の授業 学科会議後（情報集約）	各授業の実施場所等	<p>テーマ スマートタブレットによる IC カード認証ベース出席システムを用いた学生の授業出席意欲向上のための情報共有について</p> <p>実施目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において、スマートタブレットを使った出席システムの操作を習得すること。 ・学生が IC カードを常時携帯し、認証操作に慣れること。 ・授業後の出席情報をリアルタイムに集計し、履修科目の遅刻・欠席状況を調査すること。 ・遅刻・欠席が多い学生に対して、チューター、教学課が連携して学生のサポートを行うために必要な情報を調査すること。 ・調査した情報をもとに、学生の遅刻・欠席回数を減らすための授業改善を行うこと。 ・システムを通じて、個人情報保護についての知識を得ること。 <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生向けスマートタブレットを用いた IC カード認証ベース出席システムの説明を行い、情報の取り扱いについて承諾を得る。 ・授業前にすべての学生の IC カード、顔写真等をシステムに登録する。 ・学生の履修情報から授業ごとに担当科目の履修情報を抽出しシステムに登録する。 ・遅刻・欠席情報を、週ごと、月ごと、学期ごとに集計する。 ・長期欠席者を発見した場合には、学科で対応する体制を整える。

生命環境学部 生命科学科	佐藤之紀	未定	未定	<p>テーマ 学生を飽きさせないための工夫</p> <p>実施目的 学習の継続力が落ち、繰り返して実験する事が困難になってきている学生が散見される。粘り強く長時間試行錯誤を繰り返す習慣がない。このような現象を眼のあたりにしただけでなく、初等教育の現場で歩き回る児童を直接注意することのない実態にも直面し、学生を飽きさせないための工夫について議論する必要性を感じたため、本企画を前年度実施のメール FD をさらに深めることを目的とする。</p> <p>実施内容 メール FD 実施後に、ディスカッションの場を設ける予定である。(主体的学修, 学生の目標, 反復学習)</p> <p>その他 進行状況によっては、後期の実施となる可能性がある。</p>
保健福祉学部 看護学科	山中 道代	夏休み期間を中心に、1~2回/月のペースを予定	会議室等	<p>テーマ 議論を「見える化」する技法を身につけるための取り組み</p> <p>実施目的 看護学科では、シミュレーション教育の導入・強化のために、ファシリテーションやデブリーフィング技術などの学びを引き出す技術の習得を目指してきた。その中で、「議論を可視化する技術」は未着手である。様々な場面で話し合いの内容を板書する機会が多い。多様な発言をロジカルに理解し、可視化する「描いて見せる」技術を活用することでグループワークはさらに活性化し、学生の学びが引き出されると考える。</p> <p>実施内容 【抄読会の開催】 後期に予定している研修の基礎知識獲得の場としての位置づけとする事を目的として開催する。使用する図書は、「ロジカル・ディスカッション」「ファシリテーション・グラフィック」を予定している。</p>
保健福祉学部 看護学科 教育課程検討会	松森 直美	7月頃を予定	会議室等	<p>テーマ 卒業生への面接調査結果報告</p> <p>実施目的 昨年実施した卒業生への面接調査の結果から新人看護師の臨床現場における多重課題の現状と課題を共有し、看護学科の教育課程の検討に役立てる。</p> <p>実施内容 卒業生への「新人看護師として就業時に直面した看護実践上の多重課題をめぐる現状に対する認識」に関する面接調査の結果の報告会 発表者：今井多樹子講師</p>
保健福祉学部 理学療法学科	田中 聡	<ul style="list-style-type: none"> 学科会議時の討議・検討 →毎水曜日の4時限目 勉強会(月1回) →第2水曜日の4時限目 	2号館4階 2406会議室	<p>実施目的 学生の学内および学外(臨床実習)での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床実習中の学生の学習支援、および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援についての対応を討議する。 主として教育方法に関わる勉強会を実施する。 <p>その他 勉強会の場合は学部全体に事前に内容等についてメールで案内し、他学科よりの参加者を認める。</p>
保健福祉学部 作業療法学科	山西 葉子	8月6日12:30~13:00 講師 西田征治	2号館2416室	<p>テーマ 国際基準の作業療法教育</p> <p>実施目的 作業療法の臨床、研究に関する新しい知見を共有し、国際的に活躍できる作業療法士の育成を図るための教育のあり方について共有する。</p> <p>実施内容 平成26年6月17日~21日に横浜で世界作業療法士連盟大会が開催される。Education Dayでは、カリキュラムデザインの変革、専門職や学生に求められるコンピテンシーに関してカリキュラムの形成と適用、カリキュラム開発についての世界各国の意見交換、等がテーマとなっている。世界の作業療法教育の流れについて報告し合い、本学における今後の教育のあり方について検討する。</p>

<p>保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科</p>	<p>渡辺 眞澄 津田 哲也</p>	<p>詳細日程は調整中である。 毎回の開始時間は 12:10～</p>	<p>1309 演習室他</p>	<p>テーマ 教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上 実施目的 コミュニケーション障害学科の教員間, および教員と学外実習施設の言語聴覚士との間で, 各々が行っている研究・教育・指導方法の工夫内容を共有することにより, 研究・教育の向上をはかる。 実施内容 教員が行っている研究の紹介, 教育における工夫, 参加した学会・研究会の報告, 意見交換を行う。また, 学外実習施設の言語聴覚士を交えて, 実習指導における問題点, 指導上の工夫点等について情報を共有し, 指導内容の向上をはかる。実施はおよそ月に 1 回のペースで行う。</p>
<p>保健福祉学部 人間福祉学科</p>	<p>江本 純子</p>	<p>年間を通じ, 20 回の授業公開をする予定である。</p>	<p>三原キャンパス内</p>	<p>テーマ 福祉士養成教育再考: 高水準の福祉を実現できる人材の養成をめざして 実施目的 社会福祉士の教育課程では, 福祉サービスを取りまく環境が大きく変化していることを踏まえ, 現在の状況に的確に対応できる高い実践力養成が求められ, 実習・演習教育の充実が図られている。そこで, 人間福祉学科が理念として掲げる「地域のリーダーとして活躍できる専門家養成」のため, 学生が主体的に問題を発見し, 解を見出す教育をすすめるため, 学科内で授業公開を実施する。 実施内容 学科教員各自が, 年間を通じ, 授業公開を 1 回実施し, 他教員の授業に 2 回参加する。</p>